

## 日本予防理学療法学会第6回サテライト集会

### 開催趣意

日本予防理学療法学会第6回サテライト集会のテーマは、「多角的な立ち位置からの思いと共に歩む予防理学療法学の未来」といたします。

人生100年時代に突入しています。理学療法士である私たちも健康を意識しながら、それぞれの人生100年道中で「どう生きて行くか」について自身に深く問いかける必要があります。同時に、プロとして予防理学療法を国民に広く、深く、お伝えすることでそれぞれの人生と共にある大切なものとして実感していただくための努力が必要です。だからこそ、日本予防理学療法学会の会員には科学的追求と専門性をもって学問の体系化を図って頂く必要があります。シンポジウムⅠの予防理学療法の未来を支える刷新的提言「即時効果を体感できる意味」では、関連分野の先端の研究と予防を結び付けた全く新しい提言ができる企画としました。シンポジウムⅡの「日本理学療法士協会と日本予防理学療法学会へ期待するもの、市民連携で取り組む健康で文化的な生活と共にある予防理学療法」では、急激に変遷する日本社会で予防を担う専門職としてどうしても考えて頂きたい年としました。そして、本会テーマ神髄として、大淵修一先生が特別講演で「笑顔で百歳生きたい」を叶える・国民と共にある予防理学療法学の展開について導入を行います。

クライマックスは、予防合宿 **Back to the future** 塾「寺子屋式ナイトオープンディスカッション」です。予防理学療法を目指す200名の「熱き有志者」が日本予防理学療法学会の夢未来実現のために予防合宿いたします。本企画の塾長は備酒伸彦先生が務めます。寸劇風にアレンジしながら、互いの誓いをすべての国民のために実現することを忘れてはならないこととして印象付けたいと考えています。シンポジウムの講師、ならびに日本予防理学療法学会運営幹事の皆様にご参加をいただき、お互いの鼓動が分かるほどの距離感で和気藹藹と「日々の思いを語り合う」有意義なお時間として頂きたいと考えております。ポスター発表Ⅰでは、予防分科学会の一般演題を広い分野から募集します。ポスター発表Ⅱでは、指定演題（患者会・友の会・他）と表して日頃の活動場面と皆様の各々の思いをご遠慮なくお持ち頂きたく願います。市民公開講座は3部構成で地域の皆様の要望に理学療法士が寄り添わせて頂きます。

山形県鶴岡市の湯野浜温泉が会場です。悠々と続く庄内平野、秀峰、鳥海山、出羽三山（月山、羽黒山、湯殿山）に囲まれ、加藤清正、西郷隆盛とのゆかりがあり世界のクラゲ加茂水族館も近くに 있습니다。容赦なく過疎化が進行して止むことがないこの地域から有志ある皆様方とすべての国民と共に歩む、日本予防理学療法学会第6回サテライト集会が開催できますことを大変幸せに思います。2020年東京オリンピックの聖火に、私たちの立場から「力強いそれぞれの思いを込めて」共に日本から世界へ発信して大声援いたしたく考えます。

日本予防理学療法学会第6回サテライト集会 集会長 白幡淳